

## 第5回社員総会

◆開催日時 令和5年6月11日(日) 18:00~20:00

◆場所 大垣市情報工房

〒503-0803 大垣市小野4丁目35番地10

### <<総会式次第>>

#### 1. 資格審査報告(事務局)

○代議員総数: 27名

出席: 名

議決権行使書提出: 名

#### 2. 議案

第1号議案: 2022年度活動経過報告

第2号議案: 2022年度会計決算報告及び監査報告・意見書

第3号議案: 定款の一部変更

#### 3. 報告

第1号: 2023年度活動方針及び計画(案)

第2号: 2023年度会計予算(案)

#### 4. その他審議・報告事項等

1)協議会組織図

2)部員活動費について

3)協議会会費: 200円×各士会会員数

4)その他

(注) 団体名の省略使用 公益社団法人岐阜県理学療法士会: PT士会

一般社団法人岐阜県作業療法士会: OT士会

岐阜県言語聴覚士会: ST士会

## ■ 第 1 号議案：2022 年度活動経過報告

法人設立初年に設立総会を開催しましたが、翌年からは新型コロナウイルス感染症により書面による議決権行使にて 3 年間の総会運営となりました。本年ようやく対面による総会が開催されることとなり、当協議会の運営に関する議論も直接おこなうことができるのは喜ばしいことに思われる。

2022 年度の活動方針は、コロナ下の状況でしたが、①各種事業の継続、②財力強化、③事務局機能の強化でした。一つ目の各種事業については、リハビリテーション普及啓発部の「高校生 1 日体験」、地域包括ケア推進部の岐阜県からの委託事業や市町村との契約事業等、災害リハビリテーションおしていくことで研修会を担当スタッフの精力的な取り組みによって順調に実施できました。不発だったのは、リハビリ施設情報交流会の SNS での取り組みです。参加者はあったのですが、想定している活発な情報交換にはいたれず、また管理不十分から迷惑投稿も交じり活動は休止をし、閉じることにしました。

法人運営における財政基盤と事務局機能の強化は大きな課題でありましたが、本年度は事務局体制を事務局長、総務、財務としていくことで、組織図の確認や法人の会務運営の手順の整備、旅費や手当等の基準の検討などを行い、強化に向けて踏み出すことができました。一方、財政基盤に関しましては、各士会より拠出頂いての運営であり、上限があるところで、「ない袖を振る」事業実施はできないため、分相応に事業を進めて参りました。

### 【法人運営】

#### 1. 理事会

- 第 1 回：令和 4 年 7 月 11 日 WEB 開催：理事 7 名、監事 1 名  
顧問：青木先生、オブザーバー：河合氏(平成医療短期大学、後に総務部担当予定)
- 第 2 回：令和 4 年 11 月 21 日 WEB 開催：理事 7 名、監事 2 名、  
顧問：青木先生、オブザーバー：田島氏(平成医療短期大学、財務担当)
- 第 3 回：令和 5 年 3 月 7 日 WEB 開催 理事 7 名、監事 2 名  
顧問：青木先生・森先生、オブザーバー：河合氏・田島氏
- 会計監査：令和 5 年 6 月初旬

#### 2. 運営体制の整備

- 1) 事務局運営体制の整備ならびに組織図の更新（別紙添付資料「組織図」参照）
- 2) 役員会の円滑な運営：WEB 開催の導入
- 3) 適切な財務会計の実施：公認会計士と契約、（公）岐阜県理学療法士会より会計ソフトを借用
- 4) その他管理運営にかかわる事項の検討

#### 3. 渉外活動の拡充

- 1) 広報活動
  - ①ホームページの開設運営の検討：外注と検討⇒HP 開設経費 17 万円(年額)
  - ②会員への会報誌：OT 士会では、会報誌へ投稿継続随
- 2) 渉外活動：行政、関連団体と事業の実施手順等確認
- 3) 「ぎふこども福祉機器展」(PT 士会主催) への運営参加
  - 「協賛」による参加

〇〇T 士会、ST 士会より運営役員を選出して、それぞれの専門性を活かすよう参加。

## 【事業】

### 1. リハビリテーション普及啓発事業

#### ○「高校生オンラインリハビリ見学会」

・3年ぶりに（旧：高校生理学療法・作業療法・言語聴覚療法1日体験）開催した。

＜開催日＞ 2021年8月3日（火）～16日（月）計7日間

＜場所＞ 県内4施設にて動画配信（ZOOMを利用）

＜参加数＞ 14名

＜内容＞ 動画配信にて理学療法・作業療法・言語聴覚療法の実際の臨床現場の見学や施設の見学、質疑応答（各施設で設定）を行った。

### 2. 地域包括ケア推進部

#### ○渉外活動

・令和4年度も岐阜県高齢福祉課の「介護予防専門職地域派遣事業」補助事業、および医療福祉連携推進課の「理学療法士等人材育成研修委託事業」に対応した。また協定を締結している各務原市については、「リハビリテーション専門職によるフレイル予防教室」および「各務原市訪問型サービスC事業」、「各務原市フレイルチェック事業」に協働した。関市とは「地域ケア会議への派遣」契約を結び、関市内のセラピストを派遣した。

#### ①岐阜県医療福祉連携推進課からの委託「理学療法士等人材育成研修委託事業」

※全7回、コロナ禍の影響ですべてオンライン開催

・地域包括ケアシステム推進研修会 9月24日、25日 12月17日、18日

・訪問リハビリテーション実務者研修会 1月8日、9日

・訪問リハビリテーション情報共有研修会 2月19日

・言語障害関連リハビリテーション研修会 3月5日

#### ②岐阜県高齢福祉課からの補助金事業「介護予防専門職地域派遣事業」

・12自治体より74件の派遣要請に対応。

#### ③各務原市からの派遣型介護予防教室「リハビリテーション専門職によるフレイル予防教室」

・市内の高齢者サロン事業への講師派遣11件

#### ④各務原市からの「各務原市訪問型サービスC事業」

・1名の対象者に12回の講師派遣

#### ⑤各務原市からの「各務原市フレイルチェック事業」に協働

・市のフレイル予防推進委員会に3名が委員として就任

#### ⑥関市からの「地域ケア会議への派遣」

・関市地域ケア会議への出席 11回対応

#### ○運営体制の整備

・研修担当、派遣担当業務の2つに分担し業務を進めた。

・実際の業務遂行には各士会員による部員で構成された担当班を結成。

### 3. 災害リハビリテーション対策部

○災害対策部の事務局変更：岐阜総合医療センター⇒大垣市民病院

\* 任期 2 年の圏域輪番制：岐阜⇒西濃⇒東濃⇒飛騨⇒中濃⇒岐阜

○災害リハ研修会：

<開催日> 2023 年 3 月 19 日（日）

<場 所> オンライン（ZOOM を利用）

<参加数> 23 名（PT：13 名、OT：7 名、ST：3 名）

<内 容> 第 1 部「災害時のリハビリテーション専門職の役割について」

講師：上野浩季氏（JA 岐阜厚生連飛騨医療センター久美愛厚生病院 PT）

辻 量平氏（大垣徳洲会病院 PT）

第 2 部「熱海市土石流災害におけるリハビリテーション職の活動について」

講師：宮上純貴氏（医療法人社団伊豆七海会 熱海所記念病院 PT）

○災害リハ体制の整備検討：災害リハ体制の整備検討：岐阜県災害医療関係機関体制整備事業、  
・四師会災害時連絡体制、岐阜 JRAT のオブザーバー参加（2022.6.3. 須貝）

### 4. リハビリ施設情報交換会

○各施設間の情報交換・交流を行い、組織運営に役立つことを目的に SNS（LINE）を活用して、  
各部門や領域で全 5 グループを開設。

○積極的な投稿はなく、スパムや営業目的の投稿が入ってくるのみの状態で、理事会にて閉鎖の方向とした。

○情報交流に関しては、研修会など別の機会を検討する。

**第 2 号議案：2022 年度会計決算報告及び監査報告（別紙添付資料「R4 収支計算書」参照）**

**第 3 号議案：定款の一部変更（別紙添付資料「定款の一部を改正する定款（案）」参照）**

変更理由：代議員に関する定めがなかったため。

変更により、現代議員の任期は 2024 年定時総会終了までとなる。

## 報告：第1号 2023年度活動方針及び計画

### ★ポスト・コロナにおける事業のリ・スタート

#### 【基本方針】

社会は、産業資本主義からコロナによる世界的パンデミックを経てデジタル資本主義へパラダイムの転換が加速しました。生成 AI のルールが国際的な場で議論される状況となり、転換の速さに時世のひっ迫感が漂います。IT からさらに先のDX(デジタルトランスフォーメーション)化が進んでいる中で、リハビリでは、VRをはじめとしたXR技術やロボット技術でのリハ医療、eスポーツでの介護予防・社会参加の支援など先端IT技術を活用したリハビリは広がっている。DX化やロボット技術は自分たちの首を絞めるという見解もありますが、顧客満足度を最大化する意味においては、活用・共存の道が望ましい選択です。

昨年度は、リハビリ普及啓発事業において、「高校生1日体験」でITを活用した事業再開を行うことができました。その成果を継続し、内容も充実して行えて行けたらと考えます。可能ならば、高校生から中学生を対象を拡大し、今後の少子化の中でリハビリ職種が選ばれる職種になる働き掛けの糸口を作りたい。

岐阜県からの委託事業や補助金で各種事業、各務原市や関市からの市町村との契約事業も今年度は継続します。コロナ下での制約を持ちながらも需要は増えてきております。それに対する供給部分には限りがあります。派遣型の実施からIT活用も取り入れた遠隔型の実施で、派遣戦力不足を効率化する必要があります。また岐阜県高齢福祉課においてeスポーツでの介護予防に関わる事業の打診もあります。従来事業手法にITを加えながら事業を進め、今ある事業をリニューアルして**スタート**していけたらと思います。

定例理事会は、会議費節約において、コロナの恩恵を受けてZOOMで継続をしていきます。当協議会運営の基本方針は、「ない袖は振らない」はですが、各士会に頼らない自活による資金確保は意識しておきたいと思います。本年も事務局機能をさらに強化できるよう進め、会務運営を円滑にしていきます。

#### 【法人運営】

##### 1. 理事会

- 第1回：令和5年 7月
- 第2回：令和5年 11月
- 第3回：令和6年 2月 \*いずれもZOOMによる会議
- 会計監査：令和6年5月予定

##### 2. 法人運営体制の整備

- 1) 事務局運営体制の整備
- 2) 役員会の円滑な運営：WEB開催
- 3) 適切な財務会計の実施：補正予算、決算書作成
- 4) その他 管理運営にかかわる事項の検討
- 5) 広報活動
  - ①ホームページの開設運営
  - ②事務局看板の設置
  - ③会員への会報誌：随時各士会会報誌への投稿、HP活用

## 【事業】

### 1. リハビリテーション普及啓発事業

- 「高校生オンラインリハビリ見学会」を開催予定。
  - ・プロモーションビデオの制作し、次年度以降にも使用していくことで検討中。
  - ・制作ビデオは、他の啓発機会にも汎用

### 2. 地域包括ケア推進部

- 渉外活動：県庁訪問、依頼市町村対応等
- 岐阜県との補助金・委託金関連事業の実施
  - 1) 岐阜県高齢福祉課：介護予防専門職地域派遣事業補助金事業  
事業名 ①介護予防専門職地域派遣事業  
②e スポーツ介護予防促進事業
  - 2) 医療福祉連携推進課：理学療法士等人材育成研修委託事業  
事業名 ①地域ケア会議推進リーダー養成研修会  
②介護予防推進リーダー養成研修会  
③訪問リハビリテーション実務者研修会  
④リハビリテーション情報共有研修会  
⑤言語障害関連リハビリテーション研修会
- 市町村との契約によるリハビリ提供
  - 1) 各務原市 2) 関市 3) その他新たな契約希望市町村への対応
- 運営体制の整備確立：運営に関わる部員などの体制整備を進める

### 3. 災害リハビリテーション対策部

- 災害リハ研修会の開催：11月初旬
- 災害リハ体制の整備検討：四師会災害時連絡体制、岐阜県災害医療関係機関体制整備事業、岐阜 JRAT のオブザーバー参加（R5.6.20 岐阜大学：青木先生・岐阜県立多治見病院：柴）
- 岐阜県 3 土会合同災害対策・事務局の輪番制（大垣市民病院から岐阜県立多治見病院へ）  
⇒岐阜～西濃～東濃～飛騨～中濃の順、各 2 年任期

### 4. リハビリ施設情報交換会

- 施設間の情報交換会の企画・運営：令和 6 年度診療報酬改正情報など

### 5. 「ぎふ子ども福祉機器展」への運営参加

- 令和 5 年度共催 運営委員（OT/ST）選出
- 令和 6 年度に向けての運営継続

■報告 第2号 2023年度会計予算(案)

別紙「令和5年度予算(案)」参照

■組織体制:任期 2022/04/01-2024年定時総会終了まで

理事役職	氏名	所属	職種
会長	柴 貴志	岐阜県立多治見病院	OT
副会長	村雲 憲	東可児病院	PT
	須貝 里幸	大垣市民病院	OT
	佐野 和幸	松波総合病院	ST
事務局	舟木 一夫	羽島市民病院	PT
理事	岸本 泰樹	合同会社 リハの木	PT
監事	渡辺 紀子	土岐総合病院	OT
	倉知 雅史	サンビレッジ国際医療福祉専門学校	ST
顧問.	青木 隆明	岐阜大学医学系研究科 特任准教授	リハ医
	森 憲司	岩砂病院・岩砂マタニティ 副院長	リハ医

\*事務局員 (社)岐阜県理学療法士会事務局・伊藤氏 嘱託契約

■代議員任期 2022/4/1~2024年定時総会終了まで